

ひごまると学ぼう！熊本城

熊本城の地形と地質

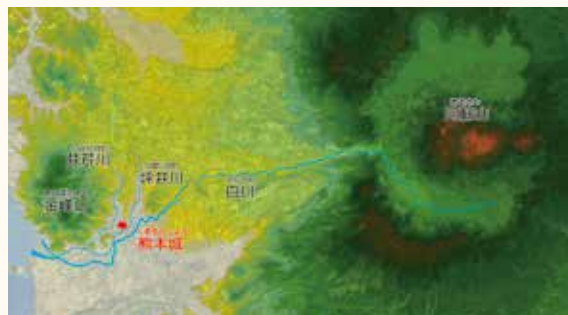


ひごまる

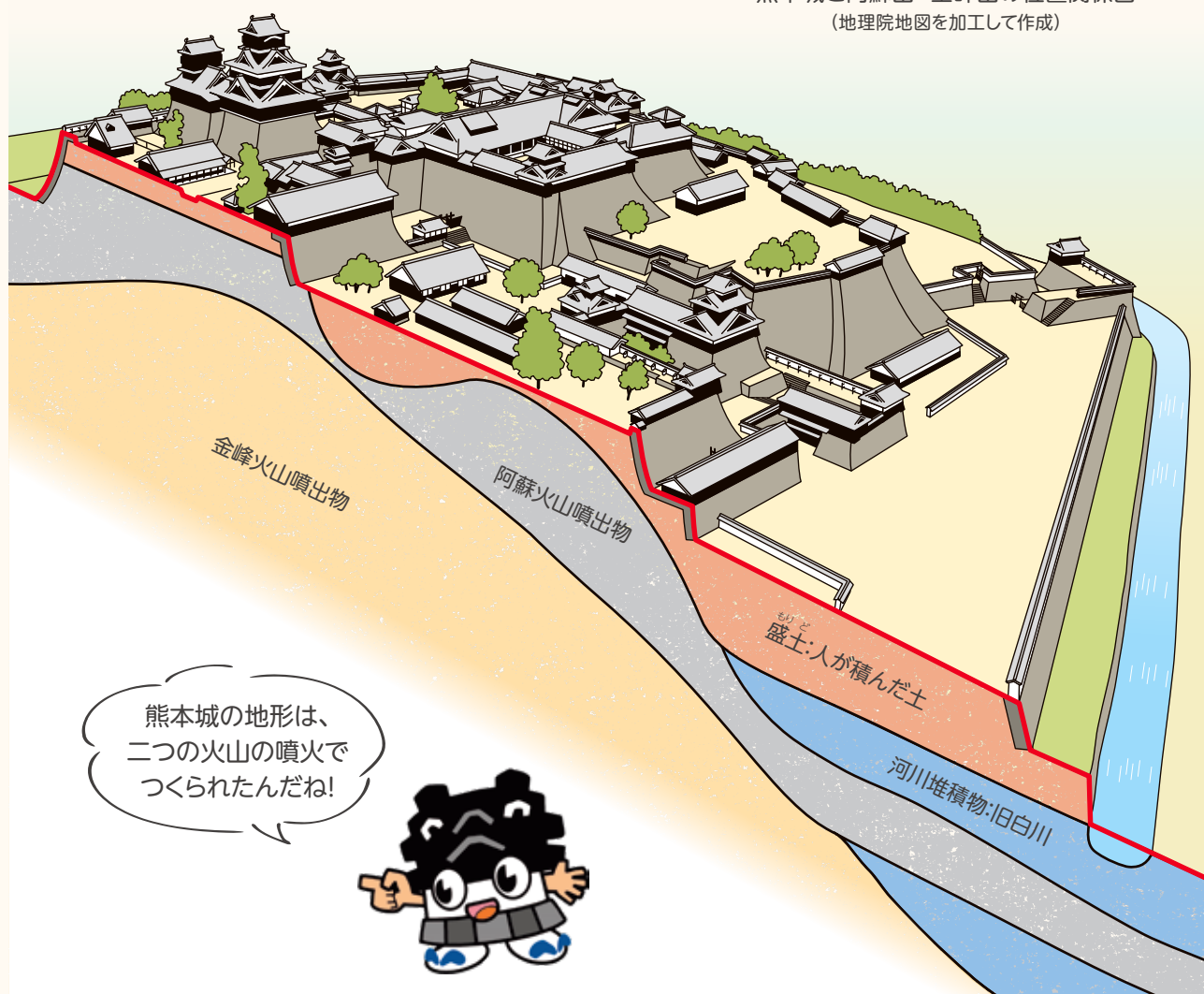
熊本城の地形って、どうやってできたの？

熊本城がある京町台地は、9万年前の阿蘇火山の4回目の噴火でつくられました。これらの噴火による火砕流で火山灰や軽石などの噴出物が40メートル以上も積もったあと、川の流れて削られたことで地形がつくられています。

さらに、熊本城周辺で行った地質調査では、熊本城周辺の9万年前の阿蘇火山の噴出物より下に、およそ110万年前の金峰山の火山噴出物が積もっていることが分かりました。



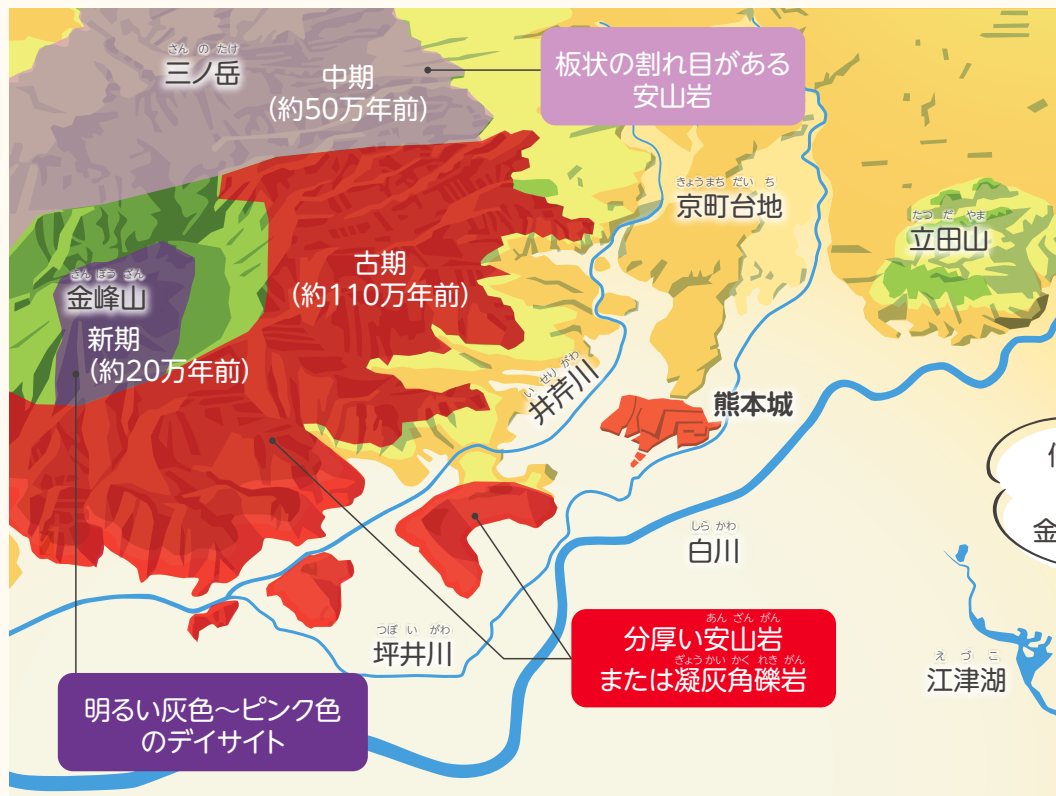
熊本城と阿蘇山・金峰山の位置関係図
(地理院地図を加工して作成)



熊本城の地質断面模式図

金峰山は火山ってほんと？

熊本市の西にある金峰山は、一ノ岳をはじめとして、二ノ岳、三ノ岳などからなる山々のことです。中央にカルデラ（火山活動によるくぼ地）がある火山で、火山が活動していた年代は大きく古期（約110万年前）・中期（約50万年前）・新期（約20万年前）に分けられます。それぞれの時期で、とくちょうのある岩石がつくられました。



金峰山周辺の地質

熊本城の石垣の石はどこから持ってきたの？

熊本城の石垣の表面（築石）には、安山岩という石が使われています。熊本城の石垣全体で数十万個の石が使われています。石垣に使われている安山岩は約110万年前の金峰山の火山噴出物でできていることが分かっています。



大天守の石垣